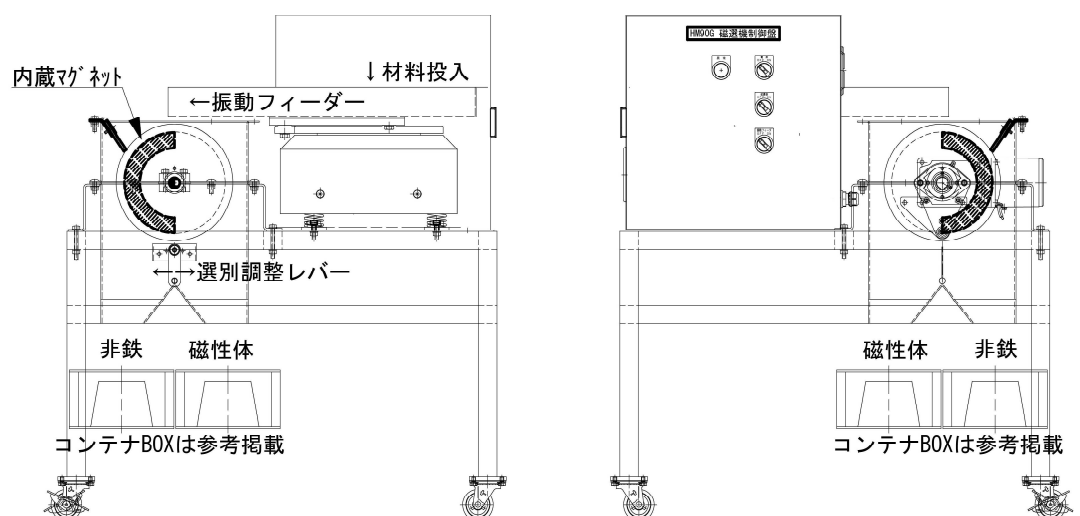


高磁力型ドラム磁選機

取扱説明書

本体型式：MH90Gシリーズ



(株) エーイーエム

〒386-1544 長野県上田市仁古田1206-2

TEL 0268-31-0155

FAX 0268-31-0160

【本機の特徴と注意】

この高磁力型ドラム磁選機は通常の磁選機で取り残した弱磁性体の材料を選別する機械です。強磁性体の大きな鉄は投入しないで下さい。理由として強い表面磁力を目的としていますので通常の鉄は強く引きつけられドラムケースが早く消耗や損傷する事があります。又、選別材料は乾式の材料を投入して下さい。水がドラム内部に入ると内部が腐食します。

【対応選別材料】

破碎されたりサイクル材料・穀物などです。

鉄製の長い針金状の材料は選別出来ませんのでご注意下さい。

【使用環境】

本機は屋内型ですので屋外での使用は出来ません。

又、可燃性ガスや腐食性ガスの発生する環境では使用出来ません。

【使用電源】

この機械の電源は3相200Vです。

海外などの200Vを超える地域では使えません。

その他の電圧には対応していません。又、機械の破損につながる事が有りますので必ず電圧を確認して接続して下さい。

又、雷等の異電圧でも故障しますので注意願います（雷雨時は電源を抜いて下さい）。

電源の欠相運転でも機械がうまく動作しない事と機械の破損に繋がりますから電気の専門家に確認をしてもらって下さい。

【機械の運転や点検について】

作業面に無負荷運転で選別ドラムや振動供給機が正常に作動するか確認後に適量の材料を投入して下さい。

無負荷運転で動作異常や異音が発生する場合は運転を停止して弊社にご連絡を下さい。

又、各部のネジの緩みや給油箇所に給油も定期的に確認して下さい。

本機は高磁力ドラムの為、選別効率を維持する為に定期的にドラム表面を清掃して下さい。

又、ドラム表面は高磁力の磁界が出ていますので工具や精密機器等を近づけないで下さい。けがをしたり機器に影響を及ぼす場合があります。

【機械の保証について】

通常の使用において保証期間は納入から1年です。それ以後は有料となります。

ユーザー様が遠方・離島などの場合は交換部品の供給で対応致します。

又、心臓部の選別ドラムカバーの摩耗時は構造が複雑な為、弊社に依頼して下さい。

ユーザーさまでのカバー交換はかなりの危険が伴います。

ドラムカバーは完全に穴が開くまで使用せずに摩耗を確認しましたら弊社に修理の依頼をして下さい。

ドラムカバーに穴が開いて内部に材料が侵入すると修理は不可能になり、ドラム全体の交

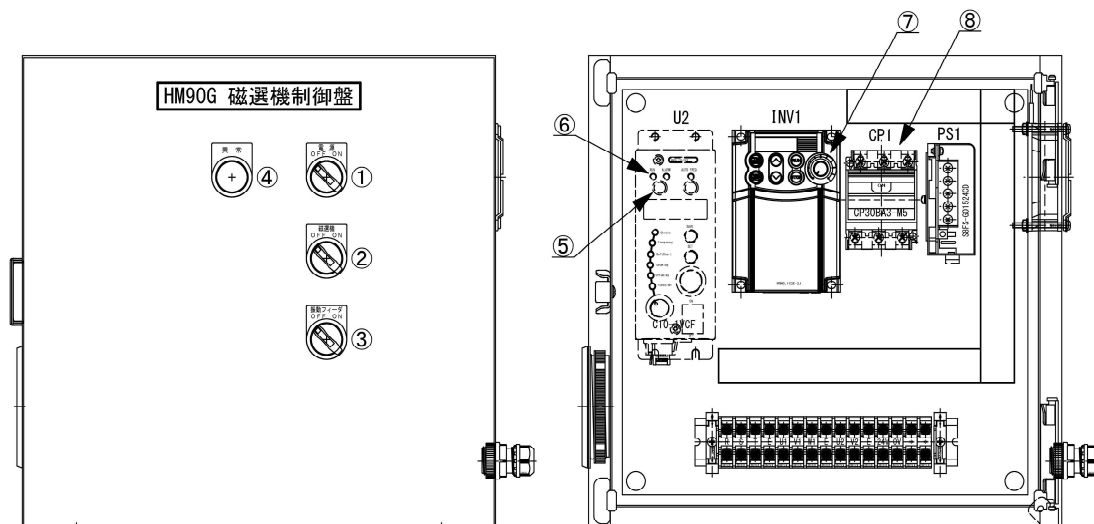
換作業となり、修理代も高額となります

保証対応は日本国内使用に限ります 海外地域への保証は出来ません

※ 機械の分解や改造は行わないで下さい

機械の修理は弊社に依頼して下さい

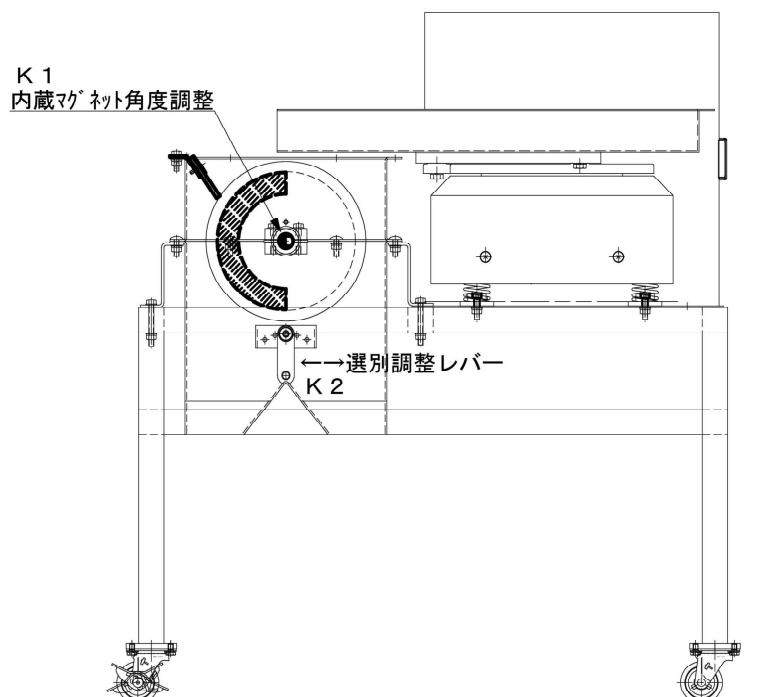
【機械の操作・設定説明】



<機器説明>

- ①：メイン電源スイッチ
- ②：選別ドラムの駆動スイッチ（回転の速度調整は⑦のボリュームで行う）
選別状態を見ながら速度を調整する
- ③：振動フィーダー駆動スイッチ
機械出荷時に大まかな設定はして有ります
⑤は振動フィーダーユニットの駆動スイッチ
⑥の緑ランプの点灯を確認する（緑ランプが点灯しないとフィーダーは動きません）
選別材料により送り量を調整する場合は別紙でU2（C10-1VCF）の取説と
設定表を参考に設定して下さい
供給状態を見ながら専用の取説を読みながら送り量を設定する
- ④：インバーター異常ランプ（ブレーカ電源の再投入で復帰）
- ⑦：選別ドラムの回転調整
- ⑧：制御盤のメイン電源ブレーカー 制御盤内部を点検する場合はこのブレーカーを
OFFにするか元電源を遮断して下さい 感電事故の心配もありますので必ず専門家
に依頼して下さい（専門家とは電気の有国家資格者です）

＜選別設定説明＞



K 1：ドラム内蔵マグネット調整用

通常は左の方向に磁力が出る様に設定されています

選別状態を見ながらボルトを緩めてわずかスパナで左右に回転をします

内部のマグネット全体が回転します

終了後は左右2本のボルトを平均に締めて下さい

K 2：ドラム下部の選別ダンパーです

選別状態を見ながら調整して下さい（インデックスツマミを引っ張って移動する）

左に移動すると磁選側の材料が増えます

右に移動すると非鉄側の材料が増えます

＜選別機本体の移動と振動フィーダーについて＞

振動フィーダーは構造上ボルトでの固定は出来ませんので振動スプリングの上に乗っています 本機の運搬などをする場合は振動フィーダーが落下しない様にヒモ等で本体を固定して下さい 落下すると質量がありますので大変危険です

＜運転中の注意＞

機械の運転中は回転部に手や衣服・鉄の工具等を入れないで下さい 重大な事故に繋がります

又、制御盤内部には高電圧が印加されていますので充電部には手を触れないで下さい